

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高崎ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 中央総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美容専門課程	総合美容師	夜・通信	1110 時間	160 時間	
	総合美容師	夜・通信	900 時間	160 時間	
	国際美容師	夜・通信	1110 時間	160 時間	
	国際ビューティ学科	夜・通信	720 時間	160 時間	
理容専門課程	理容師	夜・通信	1320 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高崎ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 中央総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部での閲覧にて公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	R1. 6. 25 ～ R4. 6. 24	組織運営体制への チェック機能
非常勤	税理士	R1. 6. 25 ～ R4. 6. 24	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高崎ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 中央総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・プロセス	
①	シラバス共通フォーマットの作成
②	教職員及び非常勤講師へ依頼
③	2月末までに提出
④	教務全体で内容を協議
⑤	訂正等がある場合は再依頼
⑥	完成後は新生へへの配布並びにホームページへの公開
・内容	
①	科目の概要及び方法
②	到達目標(目標検定・資格含む)
③	使用教材・教具(テキスト含む)
④	成績評価の方法・基準
⑤	履修に当たっての留意点
授業計画書の公表方法	http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
・成績評価について	
成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点(小テスト・レポート・授業態度等)の結果をポイントとして割り出し決められた基準により評価する。表かは5段階で上位よりS, A, B, C, Dとし、D評価は単位を認められない。評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が80%未満の者は単位取得を認められない。	
S 評価・・・95～100	
A 評価・・・79～94	
B 評価・・・66～78	
C 評価・・・51～65	
D 評価・・・0～50	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な指標として、評定平均を設定する。 <p>【評定平均の求め方】</p> <p>①科目評定を以下に換算（以後、評定換算値という）</p> <ul style="list-style-type: none"> S・・・4 A・・・3 B・・・2 C・・・1 D・・・0 <p>②評定平均の計算式</p> <p style="padding-left: 2em;">評定平均＝科目ごとの評定換算値を合計/科目数</p> <p>③（成績判定会議で成績評価が確定後、評定平均を求め、）成績の分布状況を把握する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定のプロセス <p style="padding-left: 2em;">卒業判定一覧（単位不認定・出席率）を基に卒業判定会議にて協議確認及び認定する。会議出席者は学校長・副校長・教務部長・課長・卒年次担任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定の内容 <p>① 厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合美容師学科 2010 時間【67 単位】 国際美容師学科 2010 時間【67 単位】 理容師学科 2010 時間【67 単位】 国際ビューティ学科 1830 時間【62 単位】 <p>② 学校で取得できる資格・検定を一つ以上取得している者</p> <p>③ 就職内定している者</p> <p>④ 行事への出席率が 80%以上の者</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高崎ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 中央総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.chuo.ac.jp/joho.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.chuo.ac.jp/joho.html
財産目録	学園本部窓口にて閲覧
事業報告書	学園本部窓口にて閲覧
監事による監査報告（書）	学園本部窓口にて閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

総合美容師学科（昼間）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門	総合美容師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 / 67 単位時間/単位	720/ 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1290/ 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		60人	0人	5人	17人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業方法：講義・実習 年間の授業計画：シラバス ・プロセス <ol style="list-style-type: none"> ① シラバス共通フォーマットの作成 ② 教職員及び非常勤講師へ依頼 ③ 2月末までに提出 ④ 教務全体で内容を協議 ⑤ 訂正等がある場合は再依頼 ⑥ 完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開 <p>・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 科目の概要及び方法 ② 到達目標（目標検定・資格含む） ③ 使用教材・教具（テキスト含む） ④ 成績評価の方法・基準

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点（小テスト・レポート・授業態度等）の結果をポイントとして割りだし決められた基準により評価する。 評価は、5段階で上位よりS, A, B, C, DとしてD評価は単位を認められない。 評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が80%未満の者は単位取得をみとめられない。 <p>S 評価・・・95 ～100 A 評価・・・79 ～ 94 B 評価・・・66 ～ 78 C 評価・・・51 ～ 65 D 評価・・・ 0 ～ 50</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 （総合美容師学科 2010 時間 67 単位） 行事単位 80%以上 学校で取得できる資格、検定を いずれか1つ以上を取得 <p>進級認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 （総合美容師学科 960 時間 32 単位以上） 必修科目試験合格者 行事単位 80%の以上
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人面談、三者面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23 人 (100%)	0 人 (0%)	23 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
・美容業界			
(就職指導内容)			
・面接方法、連絡の取り方、履歴者作成など			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
・社会人常識マナー検定、経済記事の読み方検定、美容会計検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	5 人	10 %
(中途退学の主な理由) ・ 経済的理由に進路変更、他業種希望による進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ 早期カウンセリング、個人面談、三者面談		

総合美容師学科（夜間）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門	総合美容師学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	2010 / 67 単位時間／単位	660/ 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1350/ 単位時間 /単位	
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		0 人	0 人	2 人	10 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法：講義・実習 年間の授業計画：シラバス ・ プロセス <ol style="list-style-type: none"> ① シラバス共通フォーマットの作成 ② 教職員及び非常勤講師へ依頼 ③ 2月末までに提出 ④ 教務全体で内容を協議 ⑤ 訂正等がある場合は再依頼 ⑥ 完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開 <p>・ 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 科目の概要及び方法 ② 到達目標（目標検定・資格含む） ③ 使用教材・教具（テキスト含む） ④ 成績評価の方法・基準
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点（小テスト・レポート・授業態度等）の結果をポイントとして割りだし決められた基準により評価する。 ・ 評価は、5段階で上位よりS, A, B, C, DとしてD評価は単位を認められない。 ・ 評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が80%未満の者は単位取得をみとめられない。

S 評価・・・95 ～100 A 評価・・・79 ～ 94 B 評価・・・66 ～ 78 C 評価・・・51 ～ 65 D 評価・・・ 0 ～ 50
卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業認定基準 ・厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 (総合美容師学科 2010 時間 67 単位) ・行事単位 80%以上 ・学校で取得できる資格、検定を いずれか1つ以上を取得 進級認定基準 ・厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 (総合美容師学科 960 時間 32 単位以上) ・必修科目試験合格者 ・行事単位 80%の以上
学修支援等 (概要) ・個人面談、三者面談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ・美容業界			
(就職指導内容) ・面接方法、連絡の取り方、履歴者作成など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・社会人常識マナー検定、経済記事の読み方検定、美容会計検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由に進路変更、他業種希望による進路変更		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 ・早期カウンセリング、個人面談、三者面談

国際美容師学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門	国際美容師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 / 67 単位時間/単位	720/ 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1290/ 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		88人	0人	5人	17人	22人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

- ・授業方法：講義・実習 年間の授業計画：シラバス
- ・プロセス

- ① シラバス共通フォーマットの作成
- ② 教職員及び非常勤講師へ依頼
- ③ 2月末までに提出
- ④ 教務全体で内容を協議
- ⑤ 訂正等がある場合は再依頼
- ⑥ 完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開

・内容

- ① 科目の概要及び方法
- ② 到達目標 (目標検定・資格含む)
- ③ 使用教材・教具 (テキスト含む)
- ④ 成績評価の方法・基準

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点 (小テスト・レポート・授業態度等) の結果をポイントとして割りだし決められた基準により評価する。
- ・評価は、5段階で上位より S, A, B, C, D として D 評価は単位を認められない。
- ・評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が 80%未満の者は単位取得をみとめられない。

S 評価・・・95 ～100

A 評価・・・79 ～ 94

B 評価・・・66 ～ 78

C 評価・・・51 ～ 65

D 評価・・・ 0 ～ 50

卒業・進級の認定基準
(概要)
卒業認定基準
<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 (国際美容師学科 2010 時間 67 単位) 行事単位 80%以上 学校で取得できる資格、検定を いずれか1つ以上を取得
進級認定基準
<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 (国際美容師学科 960 時間 32 単位以上) 必修科目試験合格者 行事単位 80%の以上
学修支援等
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> 個人面談、三者面談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30 人 (100%)	0 人 (0%)	30 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> 美容業界 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> 面接方法、連絡の取り方、履歴者作成など 			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> 社会人常識マナー検定、経済記事の読み方検定、美容会計検定 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81 人	8 人	9.9 %
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> 経済的理由に進路変更、他業種希望による進路変更 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> 早期カウンセリング、個人面談、三者面談 		

国際ビューティ学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門	国際ビューティ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 / 62 単位時間/単位	570/ 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1290/ 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		76人	人	3人	17人	20人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業方法：講義・実習 年間の授業計画：シラバス <p>授業は実習・講義ともに一斉授業を基本に実施し、各技術の習得はウィッグ、セルフ、相モデルでの施術を行う。各種資格・検定取得を目指し、卒業時にTBM技術ディプロマを修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス <ol style="list-style-type: none"> ① シラバス共通フォーマットの作成 ② 教職員及び非常勤講師へ依頼 ③ 2月末までに提出 ④ 教務全体で内容を協議 ⑤ 訂正等がある場合は再依頼 ⑥ 完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開 <ul style="list-style-type: none"> ・内容 <ol style="list-style-type: none"> ① 科目の概要及び方法 ② 到達目標 (目標検定・資格含む) ③ 使用教材・教具 (テキスト含む) ④ 成績評価の方法・基準
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点 (小テスト・レポート・授業態度等) の結果をポイントとして割りだし決められた基準により評価する。 ・評価は、5段階で上位よりS, A, B, C, DとしてD評価は単位を認められない。 ・評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が80%未満の者は単位取得をみとめられない。 <p>S 評価・・・95 ～100 A 評価・・・79 ～ 94 B 評価・・・66 ～ 78 C 評価・・・51 ～ 65 D 評価・・・ 0 ～ 50</p>

卒業・進級の認定基準
(概要)
卒業認定基準 <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省基準に基づいた単位数の取得者 (国際ビューティ学科 1860 時間、62 単位) ・学校で取得できる資格・検定を一つ以上取得している者 ・就職内定している者 ・行事への出席率が 80%以上の者
進級認定基準 <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省基準に基づいた単位数の取得者 (国際ビューティ学科 930 時間、31 単位) ・必修科目試験合格者 ・行事単位 80%の以上
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談、三者面談 ・技術が未修達の学生には、補講を行うなどして、レベルアップをはかる。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・アルビオン、日本ロレアル、コーセー、エステティック T B C、不二ビューティ、ネイルサロン、美容サロン、ドラッグストア 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・面接方法、連絡の取り方、履歴者作成など ・クラス担任指導、就職指導センターによる就活スケジュールに合わせたセミナー 			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
日本メイクアップ技術検定 (3~1 級)、接客検定、社会人常識マナー検定、経済記事読み方検定、アシスタントウェディング検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	2 人	3.7 %
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由に進路変更、他業種希望による進路変更 		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 ・早期カウンセリング、個人面談、三者面談

理容師学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		理容専門	理容師学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	2010 / 67 単位時間／単位	630/ 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1380/ 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		0人	人	2人	14人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

- ・授業方法：講義・実習 年間の授業計画：シラバス
- ・プロセス

- ① シラバス共通フォーマットの作成
- ② 教職員及び非常勤講師へ依頼
- ③ 2月末までに提出
- ④ 教務全体で内容を協議
- ⑤ 訂正等がある場合は再依頼
- ⑥ 完成後は新入生への配布並びにホームページへの公開

・内容

- ① 科目の概要及び方法
- ② 到達目標 (目標検定・資格含む)
- ③ 使用教材・教具 (テキスト含む)
- ④ 成績評価の方法・基準

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・成績評価は各期に実施される定期試験、出席率、普段点 (小テスト・レポート・授業態度等) の結果をポイントとして割りだし決められた基準により評価する。
- ・評価は、5段階で上位より S, A, B, C, D として D 評価は単位を認められない。
- ・評価区分のポイントは下記に記載する。なお出席率が 80%未満の者は単位取得をみとめられない。

S 評価・・・95 ～100

A 評価・・・79 ～ 94

B 評価・・・66 ～ 78

C 評価・・・51 ～ 65

D 評価・・・ 0 ～ 50

卒業・進級の認定基準 (概要)
<p>卒業認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 (理容師学科 2010 時間 67 単位) ・行事単位 80%以上 ・学校で取得できる資格、検定を いずれか1つ以上を取得 <p>進級認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省基準に基づいた単位数の取得者 (理容師学科 960 時間 32 単位以上) ・必修科目試験合格者 ・行事単位 80%の以上
学修支援等 (概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談、三者面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・理容業界 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・面接方法、連絡の取り方、履歴者作成など 			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人常識マナー検定、経済記事の読み方検定、美容会計検定 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・早期カウンセリング、個人面談、三者面談 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合美容師学科	100,000 円	580,000 円	320,000 円	
国際美容師学科	100,000 円	580,000 円	320,000 円	
国際ビューティ学科	100,000 円	580,000 円	320,000 円	
理容師学科	40,000 円	420,000 円	230,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・本校は企業等からの委員が参画した学校関係者評価委員会を設置する。 ・委員会は情報提供された資料をもとに評価を実施し、報告を受けた学校長は評価結果を教育活動その他の学校運営の改善に生かすとともに、その結果をホームページ等で公表する。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本健康美容協会	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業
協同組合イーストジャパン・ヘアモード	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業
株式会社エレガンス	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	企業
同窓会委員	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	卒業生
保護者会会長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.chuo.ac.jp/tbm/schoolguide/disclosure		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.chuo.ac.jp/tbm/
--